



サマースプリント王が新短距離王に

▶夏の王者として臨み、見事ビッグタイトルを手にしたタワーオブロンдон。



秋のGIシーズンの幕開けを飾るスプリンターズステークス。支持を集めたのは、キーンランドカップを制して短距離重賞を3勝としたダノンスマッシュと、セントウルステークスをコースレコードで圧勝したタワーオブロンдонの2頭で、それぞれの単勝オッズは2.8倍と2.9倍という僅差。中山巧者のモズスーパーフレアがオッズ6.2倍でそれに続き、初のビッグタイトル奪取を目指す馬たちが人気上位に名を連ねた。

ゲートが開くとすぐに、先手を奪ったのは予想どおりモズスーパーフレア。直後にマルターズアポジー、ファンタジストが付け、春に高松宮記念を勝ったミスターメロディは4番手を追走。ダノンスマッシュが7〜8番手の内を進むと、タワーオブロンдонはそれを見据える絶好のポジションをキープした。

迎えた直線。後続を離しにかかるモズスーパーフレアを逃すまいとミスターメロディが追い掛ける。そこへ馬群の外から急襲したのがタワーオブロンдон。鞍上のクリストフ・ルメール騎手に促されると、ひと際目立つ豪脚を繰り出してミスターメロディを交わし、ゴール前で計ったようにモズスーパーフレアを半馬身差し切って、GI初制覇のゴールへと飛び込んだ。1番人気のダノンスマッシュも最後はよく追い上げたものの、3着にとどまった。

朝日杯フューチュリティステークスでは3着、3歳時にはアーリントンカップを制するなどマイル戦を中心に使われてきたタワーオブロンдонは、この年の春、東京新聞杯を5着に敗れたのを機に短距離路線に専念することになる。主戦を務めるルメール騎手から「スプリント戦が向いている」との進言もあり、1400mの京王杯スプリングカップを制した後は初めての1200mとなる函館スプリントステークス3着、キーンランドカップ2着、セントウルステークスを優勝。資質を開花させたサマースプリントチャンピオンが、春の実績馬も顔を揃えた大舞台で実力を遺憾なく発揮し、GI制覇を成し遂げたのだった。



▲4コーナー、タワーオブロンдон(帽色・青・右)は中国の外から追撃態勢へ。

第53回スプリンターズステークス「GI」

9/29 中山競馬場 1200m(芝・右・外) 曇・良 16頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/備差	人気	通過順位
1	タワーオブロンдон	牡	4	57	C.ルメール	藤沢 和雄	1:07.1	②	⑪⑧
2	モズスーパーフレア	牝	4	55	松若 風馬	音無 秀孝	1/2	③	⑪①
3	ダノンスマッシュ	牡	4	57	川田 将雅	安田 隆行	クビ	①	⑦⑧
4	ミスターメロディ	牡	4	57	福永 祐一	藤原 英昭	1	⑥	④②
5	レッツゴードンキ	牝	7	55	岩田 康誠	梅田 智之	1/2	⑨	⑭⑭
6	ダイメイプリンセス	牝	6	55	秋山真一郎	森田 直行	ハナ	⑫	⑦⑤
7	ハッピーアワー	牡	3	55	横山 典弘	武 幸四郎	3/4	⑬	⑯⑯
8	ノーワン	牝	3	53	内田 博幸	笹田 和秀	1 1/4	⑭	⑫⑩
9	リナーテ	牝	5	55	三浦 皇成	須貝 尚介	1/2	⑤	⑫⑩
10	アレスパローズ	牡	7	57	菱田 裕二	角田 晃一	3/4	⑪	⑭⑭
11	イベリス	牝	3	53	浜中 俊	角田 晃一	クビ	⑩	④⑤
12	セイウンコウセイ	牡	6	57	幸 英明	上原 博之	3/4	⑧	④⑤
13	ディアンドル	牝	3	53	藤岡 佑介	奥村 豊	3	④	⑦⑩
14	マルターズアポジー	牡	7	57	丸山 元氣	堀井 雅広	3/4	⑮	②②
15	ラブカンパー	牝	4	55	酒井 学	森田 直行	クビ	⑯	⑦⑩
16	ファンタジスト	牡	3	55	武 豊	梅田 智之	3	⑦	②②

単勝 ②290円 複勝 ⑧130円 ⑦180円 ⑥120円 枠連(4-4) 1,250円
 馬連 ⑦-⑧1,260円 馬単 ③-⑦2,040円 ワイド ⑦-⑧430円 ②-⑥220円 ②-⑦380円
 3連複 ②-⑦-⑧1,070円 3連単 ③-⑦-②6,080円

ハロンタイム 11.9-10.1-10.8-11.3-11.2-11.8
 通過タイム 600m32.8-800m44.1-1000m55.3

優勝馬 **タワーオブロンдон**
 2015.2.9生 父Raven's Pass 母スノーバイン 母の父Dalakhani
 日高・ダーレー・ジャパン・ファーム有限会社生産 馬主:ゴドルフィン